

平成16年度収蔵作品(購入33点／受贈13点)

	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	技法・素材
	【購入】				
1	赤塚裕二	Canary 29211	1992年	227×180	油彩、ワックス・カンヴァス
2	イケムラレイコ	ウベルタにて	2001年	90×110.5	油彩・カンヴァス
3	イケムラレイコ	深い赤に臥す	2004年	60×80	油彩・カンヴァス
4	イケムラレイコ	無題	1989年	150×100	木炭・紙
5	イケムラレイコ	Untitled 4014	1996年	52.3×42.7	水彩・紙
6	イケムラレイコ	Untitled 4016	1996年	52.3×42.7	水彩・紙
7	イケムラレイコ	Untitled 4019	1996年	52.3×42.7	水彩・紙
8	オノサトシノブ	作品	1964年	60.5×74	油彩・カンヴァス
9	石川順恵	毛呂1998E	1998年	293×291.1	アクリル・カンヴァス
10	石川順恵	毛呂1998C	1998年	273×197	アクリル、砂・カンヴァス
11	小林正人	アトリエデッサン連作8(黄)	1991年	52×44.5	油彩、木炭・紙
12	小林正人	アトリエデッサン連作9	1991年	45×28	油彩、木炭・紙
13	小林正人	決定論と自由に関するスケッチ(窓)	1991年	35×27	ペンキ・紙
14	小林正人	イデーのスケッチ1	1991年	36.8×54.8	コンテ、パステル、チョーク・紙
15	小林正人	イデーのスケッチ2	1991年	55×48	コンテ、パステル、チョーク・紙
16	小林正人	イデーのスケッチ3	1991年	48×64	コンテ、パステル、チョーク・紙
17	小林正人	イデーのスケッチ4	1991年	37.5×45	コンテ、パステル、チョーク・紙
18	小林正人	イデーのスケッチ5	1991年	50×64	コンテ、パステル、チョーク・紙
19	小林正人	デッサン(#14)	1995年	50×65	チャコール、チョーク・紙
20	小林正人	デッサン(#21)	1995年	41×65	チャコール、チョーク・紙
21	村上友晴	Untitled	1982～83年	162×130.5	油彩・カンヴァス
22	村上友晴	Book of Hours	1990年	81.8×61.6(8点組)	鉛筆、アクリル・紙
23	坂本 勇	月明新舞子浜	1965年 (2004年刷り)	61×72.6	木版・紙

24	坂本 勇	国宝 白水阿弥陀堂	1965年 (2004年刷り)	61 × 72.6	木版・紙
25	坂本 勇	赤井薬師堂	1968年 (2004年刷り)	74.5 × 60	木版・紙
26	坂本 勇	錦秋阿弥陀堂	1972年 (2004年刷り)	59.2 × 74.5	木版・紙
27	岡崎乾二郎	燃えさかるぼろ布をやつぎばやに背中に何回も打ちつけられても、手は凍えて、ほとんど指を動かすこともできない。あるいは、長いあいだ何もしないでいたために体が物質に吸収されていたのか。皮膚は紫色に腫れ上がり、その場所から離れない。	1994年	40 × 50 × 50	ブロンズ
28	岡崎乾二郎	あかさかみつけ#2	1987年	27.5 × 25 × 17.5	ポリプロピレン、ポリエチレン、アクリル、顔料
29	岡崎乾二郎	あかさかみつけ#10	1987年	27.5 × 25 × 17.5	ポリプロピレン、ポリエチレン、アクリル、顔料
30	岡崎乾二郎	あかさかみつけ#11	1987年	27.5 × 25 × 17.5	ポリプロピレン、ポリエチレン、アクリル、顔料
31	岡崎乾二郎	あかさかみつけ#12	1987年	27.5 × 25 × 17.5	ポリプロピレン、ポリエチレン、アクリル、顔料
32	岡崎乾二郎	あかさかみつけ#17	1987年	27.5 × 25 × 17.5	ポリプロピレン、ポリエチレン、アクリル、顔料
33	岡崎乾二郎	あかさかみつけ#26	1989年	27.5 × 25 × 17.5	ポリプロピレン、ポリエチレン、アクリル、顔料
	【受贈】				
1	阿部広司	パリ風景	1966年	74.2 × 104.5	水彩・紙
2	鈴木 武	坑夫習作	不詳	35.6 × 25.6	コンテ、水彩・紙
3	田淵安一	インディアンサマーV	1990年	195 × 196	油彩、金箔・カンヴァス
4	中村亨司	炭鉱の思い出	1973年	145.5 × 97	油彩・カンヴァス
5	坂本 勇	新舞子	1964年 (2004年刷り)	40 × 52	木版・紙
6	坂本 勇	内陣	1965年 (2004年刷り)	54.5 × 45	木版・紙
7	坂本 勇	田園夕照	1965年 (2004年刷り)	41 × 53	木版・紙
8	坂本 勇	出土	1965年 (2004年刷り)	53.5 × 41.5	木版・紙
9	坂本 勇	照島の朝	1970年 (2004年刷り)	40.7 × 52.9	木版・紙
10	坂本 勇	塩屋崎	1970年 (2004年刷り)	54.2 × 44.8	木版・紙
11	坂本 勇	勿来の関	1972年 (2004年刷り)	41.5 × 52.3	木版・紙
12-1	吉澤美香	へー83	1993年	122 × 100	ドライポイント、アクアチント・紙

12-2	吉澤美香	へー84	1993年	122×100	ドライポイント、アクアチント・紙
12-3	吉澤美香	へー85	1993年	122×100	ドライポイント、アクアチント・紙
12-4	吉澤美香	へー86	1993年	122×100	ドライポイント、アクアチント・紙
12-5	吉澤美香	へー87	1993年	122×100	ドライポイント、アクアチント・紙
12-6	吉澤美香	へー88	1993年	122×100	ドライポイント、アクアチント・紙
12-7	吉澤美香	へー89	1993年	122×100	ドライポイント、アクアチント・紙
12-8	吉澤美香	へー90	1993年	122×100	ドライポイント、アクアチント・紙
12-9	吉澤美香	へー91	1993年	122×100	ドライポイント、アクアチント・紙
12-10	吉澤美香	へー92	1993年	122×100	ドライポイント、アクアチント・紙
12-11	吉澤美香	へー93	1993年	122×100	ドライポイント、アクアチント・紙
12-12	吉澤美香	へー94	1993年	122×100	ドライポイント、アクアチント・紙
12-13	吉澤美香	へー95	1993年	122×100	ドライポイント、アクアチント・紙
12-14	吉澤美香	へー96	1993年	122×100	ドライポイント、アクアチント・紙
12-15	吉澤美香	へー97	1993年	122×100	ドライポイント、アクアチント・紙
13	松浦 良	入坑前	1953年	175.5×59.5×34.7	木

◇オノサトシノブは、日本における抽象絵画の先駆者として高く評価されており、その本格的な作品の収蔵が望まれてきたが、今回の油彩作品は、最も充実した時期に制作されたオノサトの代表的な作品として収蔵されている。

◇村上友晴は、今日の絵画において極めてクオリティの高い作品を発表していることで知られており、その代表作として2点の作品が収蔵されている。

◇イケムラレイコは、近年国内外においてそのナイーブで力強い作品が注目を集めている作家であり、日本やヨーロッパで精力的な活動を展開しているが、そのイケムラの特徴を示す良質な作品が収蔵されている。

◇赤塚祐二は、90年代以降に活躍する若手作家の一人として注目され、今回収蔵した作品は、赤塚の代表作である。

◇岡崎乾二郎は、80年代以降の美術界をリードしてきた作家の一人で、その初期の代表作と近年の充実した作品を収蔵することができた。

◇小林正人は、近年最も実力が評価されている作家の一人で、すでに当美術館に作品が収蔵されているが、今回収蔵した素描類は、油彩作品の制作背景を知る上でも重要な作品である。

◇石川順恵は、まだ公立美術館に作品が収蔵されていない若手作家であるが、近年各種の先鋭的な企画展に出品が続き、次第に評価が高まっている作家であり、その充実した2点の大作を収蔵した。

◇坂本勇は、いわきゆかりの作家としていわきの風景を描いた作品シリーズを収蔵した。

◇田淵安一は、戦後美術の重鎮として評価が高く、既に当美術館には60、70年代の作品が収蔵されているが、今回90年代の作品を収蔵した。

◇吉澤美香は、かつて当美術館において個展を開催しており、作品も所蔵されているが、今回は吉澤の貴重な版画作品を収蔵することができた。

◇鈴木武、松浦良、中村亨司の作品は、いずれも常磐炭田と美術展開催を機縁として炭鉱と美術を物語る作品として収蔵された。

◇阿部広司は、いわきゆかりの作家であり、日展等において活躍しているが、その貴重な作品を収蔵することができた。